



校長室より

先々週の月曜日の朝、校門のところに立っていると、子どもたちが不思議そうな顔をして、通り過ぎていきます。自分の顔に何かついているのかなあ？と思いながら、そのまま立っていました。そこへやってきた低学年の男の子。同じように怪訝そうな顔をして、こう言いました。「先生、今日は帽子どうしたん？」そうでした。いつもかぶっている黄色い交通安全の帽子を忘れていたのです。今日は学校を出るときにはかぶっていたのですが、かかってきた電話に出るために、帽子を電話機の横に置いたまま忘れてしまっていたのです。「道理で頭が寒いはずや。」と、苦笑いをしてしまいました。



金次郎さんもびっくり！

このあと、たくさん子どもたちから声をかけられました。嬉しかったのは、何人もの子どもたちが、「どこへ忘れてきたん？」「持ってきたるか。」と言ってくれたことです。「ありがとう。大丈夫やで。」と言いながら、子どもたちの優しさに、心がぽかぽかとしてきました。遠くの車からでもよく見えるようにとかぶり始めた黄色い帽子、子どもたちのイメージの中にも定着したようです。これからは、忘れないように注意します。(帽子だけでなく、湯飲みや筆箱等も、あちこちに置き忘れてしまうようになったんです。こまったものですね。)

大雪 ～見たこともないような積雪～

14日の雪には、本当に驚かされました。未明から降り出した雪は、夜が明けてからさらに勢いを増し、辺り一面が北国のような様相となりました。近鉄・JRの鉄道をはじめ、バスやタクシーなども完全に麻痺状態となりました。日頃から雪のある生活に慣れていない地方ですから、全く身動きが取れない状態でした。結局市内のほとんどの学校が、授業をカットして早めに下校する措置を取りました。お家の方の中には、1時間も2時間も歩いて帰宅された方も、いらっしゃったのではないのでしょうか。



雪の登校風景

登校してきた子どもたちと言うと、もちろん多くが運動場へ飛び出して、雪合戦や雪だるま作りに大忙しでした。子どもたちにとって、雪って本当に魅力的なんですね。転んでも痛くないからと、顔から雪に飛び込んだり、足から滑り込んだりと大はしゃぎでした。

でも、楽しみにしていた昼休みは中止になり、そのまま下校することになりました。私は小林まで行ったのですが、帰り道で雪だるまやかまくらを作っている子どもたちや、雪合戦に興じる多くの中学生と会いました。

大人にとっては大変迷惑な雪でしたが、子どもたちにとっては、滅多にない充実した遊びの一日だったようです。



運動場で雪だるま作り

租税教室 ～6年生～

例年、6年生を対象に租税教室が開かれています。今年は、伊勢県税事務所の方に来ていただいて、6年生全員に「税の仕組み」等を教えていただきました。税金の流れや使い道、税の種類などを学んだあと、もし税金がなかったらどうなるかのDVDも見せていただきました。4月から消費税が8%に上がることは、ほとんどの子どもたちも知っていて、とても熱心に聞き入っていました。また、一億円の束（もちろん本物ではありませんが）を持って、重さを実感していました。



租税教室

学校訪問 ～御園第二保育園～

13日（木）、御園第二保育園の皆さんが、御園小学校に来て下さいました。4月から



第二保育園のみなさん

1年生になるみなさんです。学校へ来るまでの道のりや、学校の施設なども見学していただきました。何クラスかは、授業をしている教室に入り、その様子も見てもらいました。授業中の在校生のみなさんはもちろんですが、保育園の子どもたちもちょっと緊張気味でした。広い運動場や体育館、長い廊下や階段に、みなさんびっくりしていました。みんなとても

もきちんとしていて、4月の入学が今から楽しみになりました。

訂正とお詫び

前号（No.98）で、児童会の子どもたちが取り組んでくれた赤い羽根募金についての記事の中で、募金が6,000円近くとありましたが、正しくは16,000円近くの誤りでした。お詫びして訂正いたします。申し訳、ありませんでした。

インフルエンザの流行が止まりません。先週は、3A・4A・4B・6Aが2月18日からの三日間、2A・5Bが20日・21日の二日間、学級閉鎖となりました。ほとんどがB型のインフルエンザです。かかりはじめは、微熱や腹痛等の軽い症状の人も多く、受診してインフルエンザと診断されて驚く人も多いそうです。いずれにしても、感染力が大変強いので要注意です。